

特別勘定の特徴

	主な投資対象	ベンチマーク	運用方針	運用の特徴	主なリスク
株式型	日本株式	日経平均株価	上場投資信託（日経225型ETF）を主体に投資を行い、株式市場との連動性を確保します。さらに、国内株式への投資も行うことで、中長期的に日経平均株価を上まわる運用成果の獲得を目指します。	当社において組み入れ銘柄の選定などを行います。 ■日経平均連動型のETFと、国内の個別株式に投資します。 ■中長期的な視点から銘柄を選定し、株式の値上がり益の獲得を目指します。	■国内株式の価格変動など
日本成長株式型	日本株式	TOPIX（配当金込）	追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）」に投資を行います。当該投資信託は、主としてわが国の取引所に上場（これに準ずるものを含みます）されている株式を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行うことを基本とします。	主に当社が選定する投資信託へ投資します。 ■個別企業分析により成長企業を選定するボトムアップ運用を行う投資信託に投資します。	■国内株式の価格変動など
世界コア株式型	外国株式 日本株式	MSCIワールド・インデックス（配当込・円ベース）	追加型株式投資信託「ワールドエクイティ・ファンドVL<適格機関投資家限定>」に投資を行います。当該投資信託は、国内外の株式などに投資を行い、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（配当込・円ベース）を上まわる投資成果の獲得を目指して運用を行います。	主に当社が選定する投資信託へ投資します。 ■70%程度をベンチマークと連動するパッシブファンドに投資します。 ■残り30%程度を世界先進国の株式を対象とするアクティブファンドに投資します。	■日本・世界各国の株価変動 ■外国為替レートの変動 など
世界株式型	外国株式 日本株式	MSCIワールド・インデックス（配当込・円ベース）	有力な無形資産（ブランド）を保有する企業に注目し、更にファンダメンタルズ分析を行うことにより世界各国の株式に分散投資を行い、中長期的にMSCIワールド・インデックス（配当込・円ベース）を上まわる運用成果の獲得を目指します。	モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント㈱から運用助言を受け、組み入れ銘柄の選定を行います。 ■個別企業の分析を重視するため、ベンチマークの動きとは乖離することがあります。	■日本・世界各国の株価変動 ■外国為替レートの変動 など
債券型	日本債券	—	中長期的に安定した運用利回り確保することを目標に、円貨建債券を中心としたポートフォリオを構築します。債券ポートフォリオから安定した利息収入を確保しつつ、売却による売却益を獲得し、安定した運用成果の獲得を目指します。	当社において組み入れ銘柄の選定などを行います。 ■日本の国債に主に投資します。	■国内の金利の変動 ■債券発行体の財務状況の変化 など
世界債券型	外国債券 日本債券	FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）	金利の分析により、実質金利が高く、長短金利差が大きく、かつ経済環境が良好と判断される国に投資を行い、中長期的にFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を上まわる運用成果の獲得を目指します。	当社において組み入れ銘柄の選定などを行います。 ■日本を含む先進国の国債に投資します。 ■マクロ経済と金利の分析により投資を実行します。	■日本および世界各国の金利の変動 ■債券発行体の財務状況の変化 ■外国為替レートの変動 など
総合型	日本株式 日本債券	—	円貨建債券ポートフォリオから安定した利息収入を確保しつつ、経済・金融情勢を分析し、中長期的に投資リスクに比べて期待収益率が高いと判断される資産に積極的に資産配分を行います。	当社において組み入れ銘柄の選定などを行います。 ■債券型特別勘定と株式型特別勘定の中間に位置づけられ、ミドルリスク・ミドルリターン性格を持つ特別勘定となります。	■国内の金利の変動 ■債券発行体の財務状況の変化 ■国内株式の価格変動 など
短期金融市場型	短期債券（日本）	短期金利（無担保コール翌日物など）	短期債券および短期金融商品中心に投資を行い、短期金利程度の運用利回りの確保を目標として運用を行います。	当社において組み入れ銘柄の選定などを行います。 ■当社の8つの特別勘定の中では、最もローリスク・ローリターンのファンドです。 ■ほかの特別勘定の資産価格が下落することが想定される局面で、一時的に退避するファンドと位置づけられます。	■国内の金利の変動 ■債券発行体の財務状況の変化 など